



## 心のビタミン No.190



### 国語力を磨こう

芥川賞作家の又吉直樹氏の出版本がさらに増刷され単行本で歴代2位とか。芸人断トツの読書家で、サッカーでインターハイに出た高校時代、休み時間は文学小説を読み、控えめで礼儀正しかったという。溢れる才能の基盤とは何だろうか？

ノーベル平和賞受賞のマララ氏、英国統一学力試験で多数科目が最高ランクに。昨年スピーチが人々を感動させ、教材になった簡潔な英文を思い出す。両者の共通点は国語力ではないだろうか。

日本人は世界で難しいとされる日本語を駆使できても、英語で簡単な日常会話ができない人が多い。そこで、小学校高学年から英語を聞き話すカリキュラムが本年から導入された。今後さらに多言語を駆使してコミュニケーションを図る若い世代に期待したい。

↑↑↑注目したい。

日本語が堪能な外国人が長年日本で生活しても、活字を読まなければ簡単な挨拶は可能だが国語力は上がらない。勉強や仕事、スポーツもすべて根本は言語から。

「国家の品格」を著した数学者・藤原正彦先生の文章は平易で心を動かす。数学の真、宗教の善、詩歌や芸術の美の源泉は大脳思考による。TV番組で池上彰、林修各氏の魅力はパワフルな「語」であろう。語||言+吾、悟||心+吾。言は厳しい誓い、吾は守る、悟は心の迷いを退け物事の道理を知り、自身がさとするという意味だ。

人間は考える葦である。言語で考え意思を伝え、歴史が動く。国語力をさらに磨き、世界の人々と共に文化を創造していきたいものだ。

(医師・音楽家板東浩)

言語 → 語 → 悟